

いらない日本語の本を おゆずりください

日本語で書かれていれば、なんでもOKです。

なんでもください！

— 例え、マンガ、文庫、新書、選書、
大学教科書、お料理の本、趣味の本、
学校教科書（小学校、中学校、高校の教科書）、
ハウ・ツー本、論文・レポートの書き方、
絵本、童話、昔話。

アジアで日本語を学ぼうとしている人は年々増加していますが、個人では教材が入手できないことが少なくありません。なぜなら、日本との物価差が大きい国では、日本語の本がたいへん高価だからです。

そのような地域では、どのような内容のものでも、日本語で書かれている本なら、教材としてとてもよるべれます。入手できる日本語の本が少ないため、マンガやクイズの本でも、また、ハウツーものの本や大学のテキストなどでも、日本語を学習する教材となります。いわゆる日本語学習用の教科書でなくとも、多様な内容、文体、語彙の日本語を見ることができたら、どのようなものでも、日本語の教材として役立つことができるのです。

ですので、簡単に言えば、日本語で書かれているものならなんでもかまいませんから、不要になった日本語の本を、どうか寄贈してください。

寄贈場所 — 文学部8階日文学科フロア奥908号郵便研究室のドア正面にある本棚本棚においてください。

(寄贈者の名前と所属を書いたメモを本にはさんでいただければ幸いです。なくてもかまいません。)

©2023 JILS

「日本語教材を送る会」(仮称)(代表:安部潤哉) 連絡先:学習院大学文学部 (seba.ate@gakushuin.ac.jp)

日本語の本の送付先: 当会の予定は中国、東東アジアなど。送付の時期: 集まり具合と送付費用などを勘案して適宜。